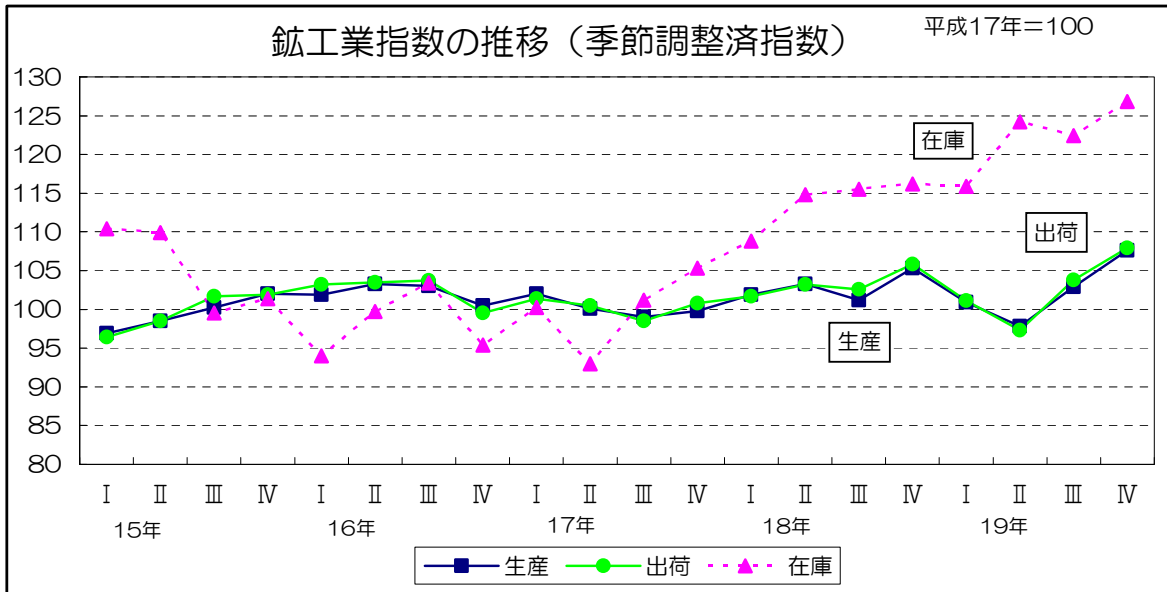


平成19年の福岡県鋳工業指数の動向

1 概況

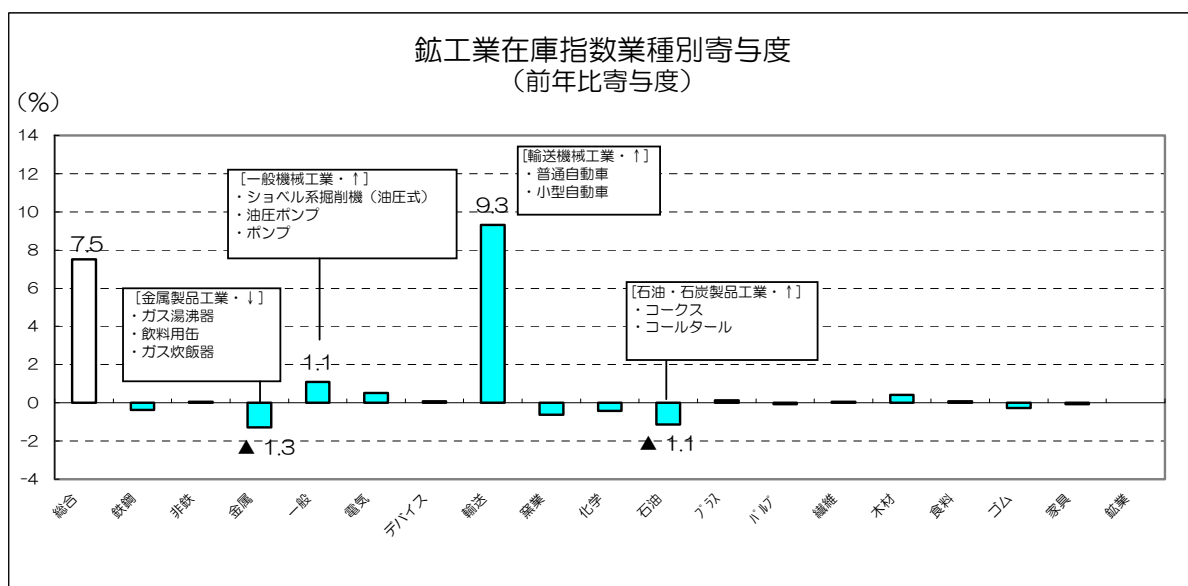
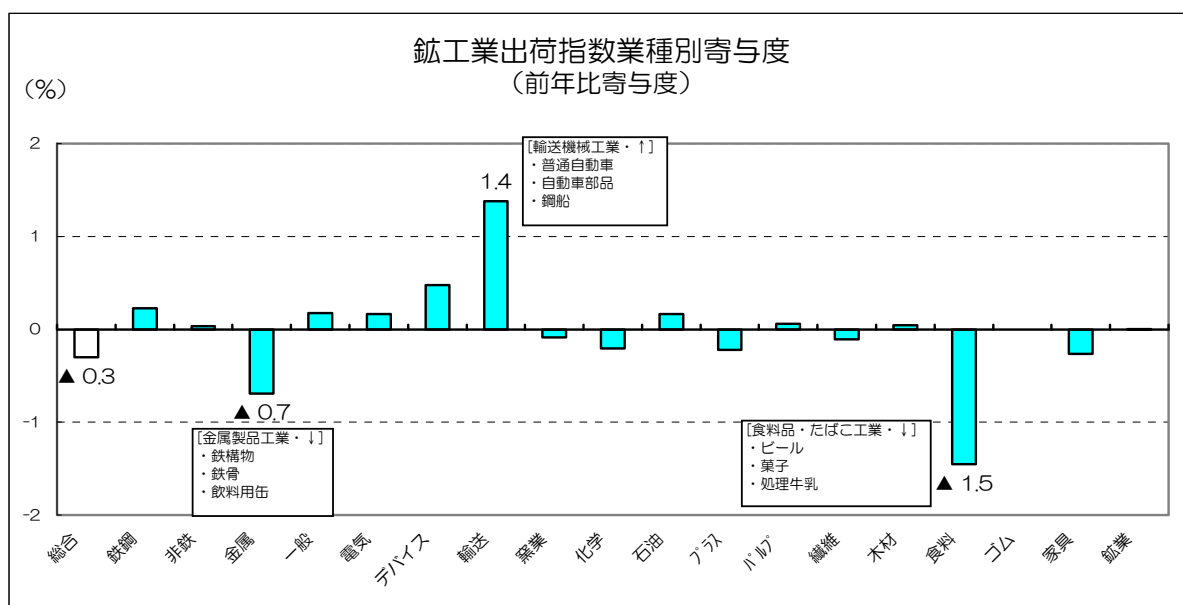
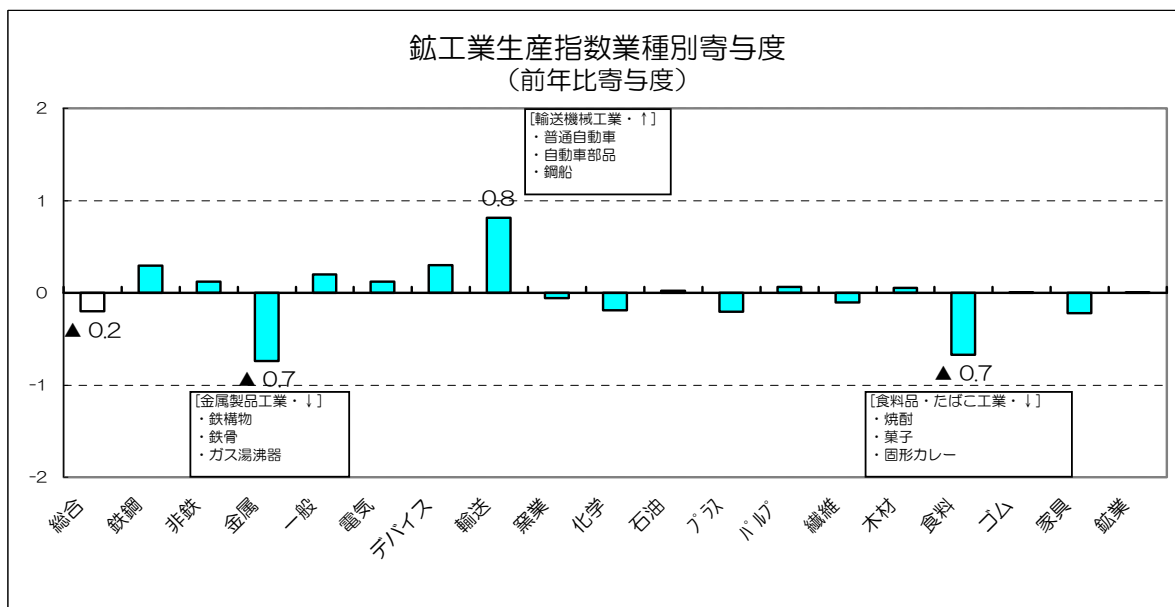
(1) 業種別動向（全18業種・主要業種の動向はp.5以降を参照）



鋳工業指数の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	15年	16年	17年	18年	19年	19年			
						I	II	III	IV
生産	99.4	102.4	100.0	102.6	102.4	100.9	97.8	102.9	107.6
前期(年)比	4.0	3.0	▲2.3	2.6	▲0.2	▲4.2	▲3.1	5.2	4.6
前年同期比	—	—	—	—	—	▲0.9	▲4.9	1.5	3.3
出荷	99.6	102.7	100.0	103.0	102.7	101.1	97.3	103.8	107.9
前期(年)比	6.0	3.1	▲2.6	3.0	▲0.3	▲4.4	▲3.8	6.7	3.9
前年同期比	—	—	—	—	—	▲0.6	▲5.3	0.9	3.4
在庫	105.1	98.5	100.0	113.8	122.3	115.9	124.2	122.4	126.8
前期(年)比	▲6.2	▲6.3	1.5	13.8	7.5	▲0.3	7.2	▲1.4	3.6
前年同期比	—	—	—	—	—	6.4	8.2	5.7	9.3



※枠内の品目については、各業種の上昇または下落に寄与した上位3品目を掲載

(2) 財別動向 (生産・在庫の詳細はp.42以降を参照)

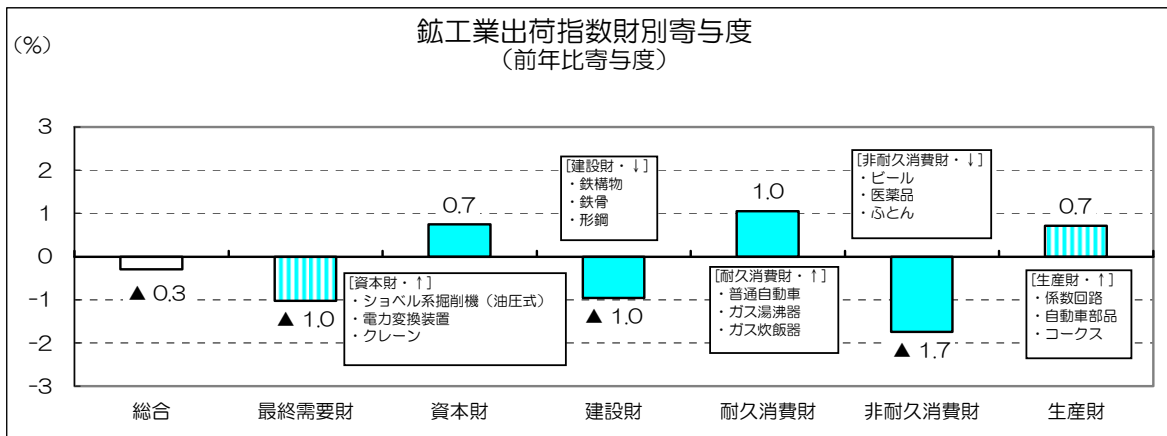
財別(=用途別)の出荷指数を用いて、耐久消費財、資本財などの財の需要動向や、財の動きを通して県内最終需要の動きを把握することができる。

- 総合出荷指数は102.7で、前年比▲0.3%減と2年ぶりの下落となった。最終需要財は同▲1.6%減と2年ぶりの下落となった。生産財は同1.9%増と2年連続の上昇となった。
- 最終需要財のうち、資本財は、ショベル系掘削機(油圧式)、電力変換装置、クレーンなどが上昇したため同6.3%増で5年連続の上昇となった。建設財は、鉄構物、鉄骨、形鋼などが下落したため、同▲10.5%減で6年連続の下落となった。
- また、耐久消費財は、普通乗用車、ガス湯沸器、ガス炊飯器などが上昇したため、同3.4%増で2年連続の上昇となった。非耐久消費財は、ビール、医薬品、ふとんなどが下落したため同▲10.4%減で2年ぶりの下落となった。

鉱工業出荷指数(財別)の推移(年は原指数、四半期は季節調整済指数)

平成17年=100

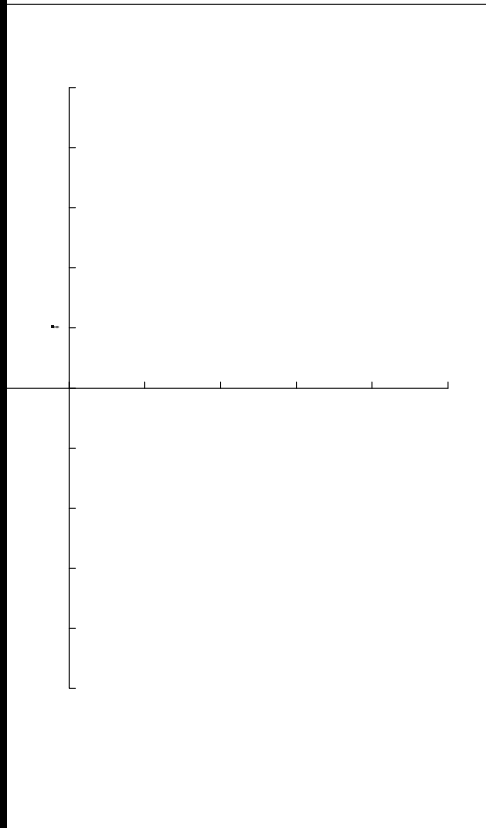
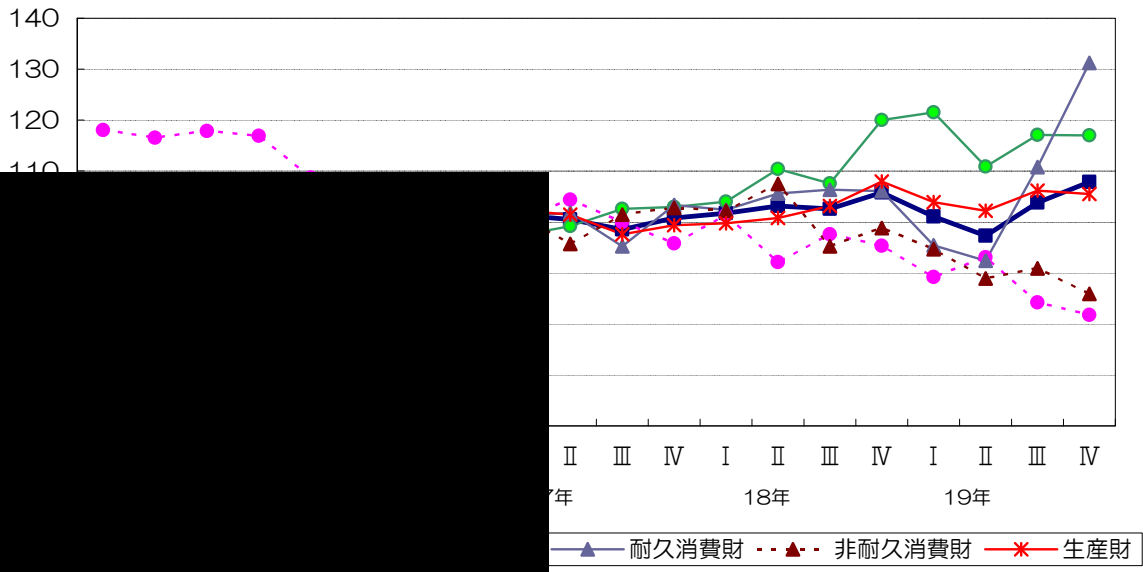
	15年	16年	17年	18年	19年	I	II	III	IV
鉱工業総合	99.6	102.7	100.0	103.0	102.7	101.1	97.3	103.8	107.9
前期(年)比	6.0	3.1	▲2.6	3.0	▲0.3	▲4.4	▲3.8	6.7	3.9
前年同期比	—	—	—	—	—	▲0.6	▲5.3	0.9	3.4
最終需要財	100.6	100.1	100.0	103.2	101.6	99.1	94.5	102.5	109.5
前期(年)比	7.6	▲0.5	▲0.1	3.2	▲1.6	▲5.4	▲4.6	8.5	6.8
前年同期比	—	—	—	—	—	▲3.3	▲9.3	▲0.2	6.3
投資財	97.9	97.1	100.0	104.0	102.9	106.4	103.0	101.6	100.1
前期(年)比	0.9	▲0.8	3.0	4.0	▲1.1	▲1.6	▲3.2	▲1.4	▲1.5
前年同期比	—	—	—	—	—	3.7	1.0	▲1.3	▲7.2
資本財	80.9	93.2	100.0	109.9	116.8	121.5	110.9	117.1	117.0
前期(年)比	17.8	15.2	7.3	9.9	6.3	1.3	▲8.7	5.6	▲0.1
前年同期比	—	—	—	—	—	16.6	1.5	8.7	▲1.6
建設財	117.3	101.5	100.0	97.2	87.0	89.2	93.1	84.2	81.8
前期(年)比	▲9.4	▲13.5	▲1.5	▲2.8	▲10.5	▲6.4	4.4	▲9.6	▲2.9
前年同期比	—	—	—	—	—	▲12.4	0.3	▲14.2	▲14.3
消費財	101.9	101.5	100.0	102.8	101.0	95.3	90.9	103.3	113.6
前期(年)比	11.0	▲0.4	▲1.5	2.8	▲1.8	▲7.6	▲4.6	13.6	10.0
前年同期比	—	—	—	—	—	▲6.7	▲13.7	0.4	12.7
耐久消費財	103.0	101.8	100.0	104.4	107.9	95.4	92.4	110.8	131.2
前期(年)比	15.2	▲1.2	▲1.8	4.4	3.4	▲10.1	▲3.1	19.9	18.4
前年同期比	—	—	—	—	—	▲6.5	▲11.4	3.2	26.8
非耐久消費財	100.2	101.0	100.0	100.4	90.0	94.7	88.9	90.9	85.9
前期(年)比	4.8	0.8	▲1.0	0.4	▲10.4	▲4.1	▲6.1	2.2	▲5.5
前年同期比	—	—	—	—	—	▲7.3	▲17.3	▲4.5	▲11.6
生産財	98.0	107.1	100.0	102.6	104.5	103.9	102.2	106.2	105.5
前期(年)比	3.3	9.3	▲6.6	2.6	1.9	▲3.8	▲1.6	3.9	▲0.7
前年同期比	—	—	—	—	—	4.3	1.9	2.8	▲1.3



※枠内の品目については、財別の上昇または下落に寄与した上位3品目を掲載

鉱工業出荷指数（財別）の推移（季節調整済指数）

平成17年=100



をとり、生産と在庫の関係から現状を判断する。
景気の回復期で、上にあるときは後退期と考えられる。